



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

2022年3月期 決算説明会資料

2022年05月16日

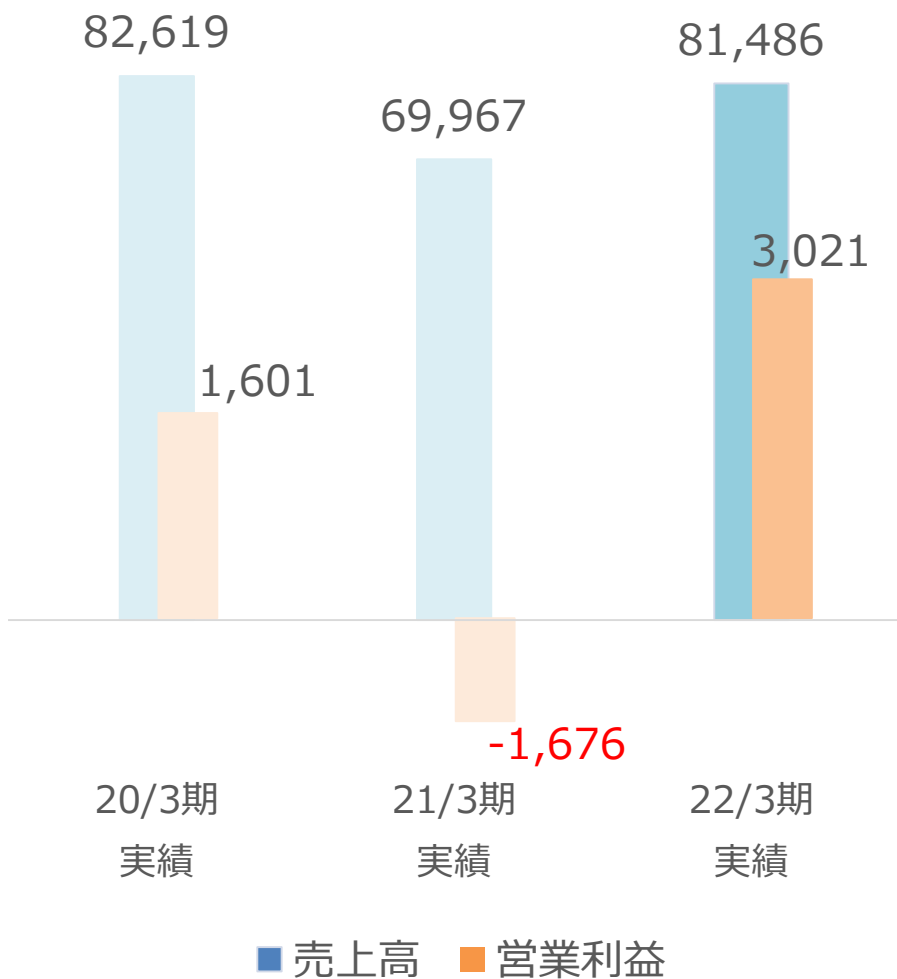
日本シイエムケイ株式会社

1. 2022年3月期 連結業績
2. 2023年3月期 連結業績見通し
3. 補足資料

1. 2022年3月期 連結業績

① 決算のポイント

(単位：百万円)



- グローバルでの自動車販売台数が回復し、売上高は増加
- 材料価格上昇等の影響を受けたものの、生産性向上等の効果により、営業利益は増益

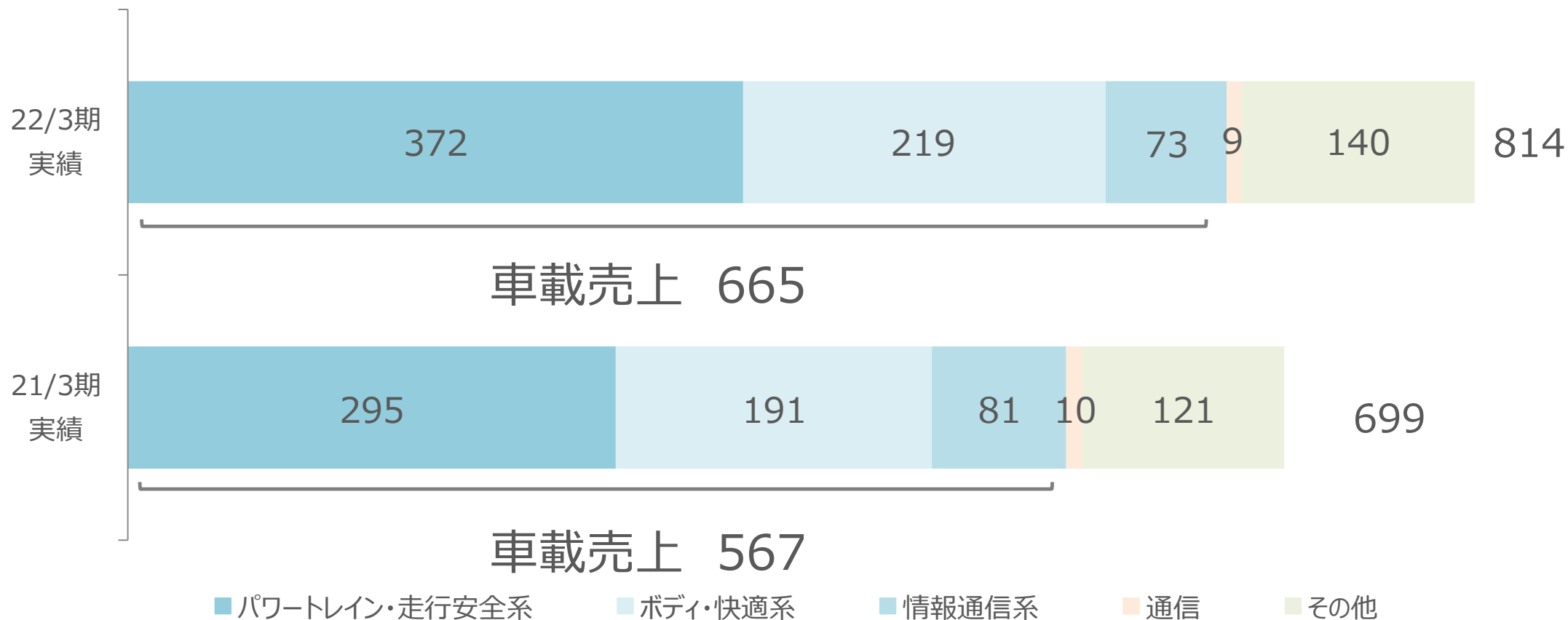
②連結損益

(百万円)	21/3期 実績	22/3期 実績	増減額	増減率
売上高	69,967	81,486	+11,519	+17%
営業利益	-1,676	3,021	+4,698	-
率	-	3.7%	-	-
経常利益	-1,511	3,305	+4,816	-
当期純利益	-1,868	2,785	+4,653	-
平均為替レート (USD/JPY)	106.44	110.39	+3.95	+4%

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

③用途別売上高

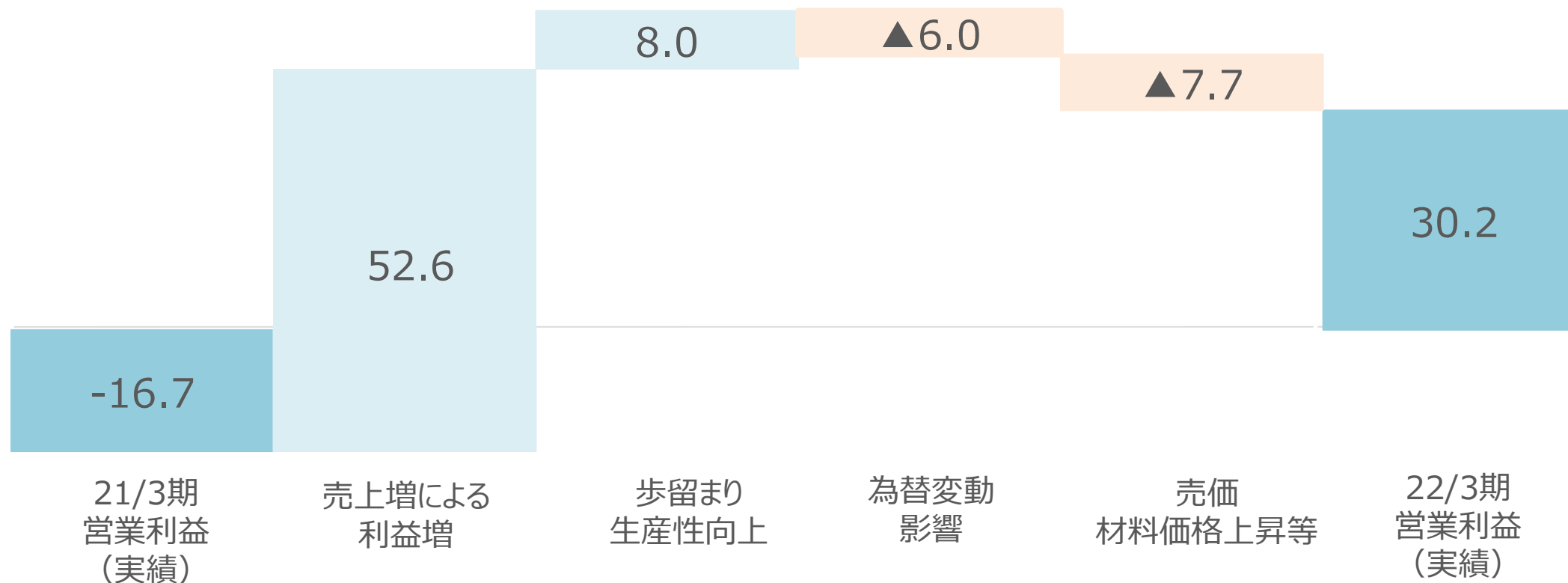
(単位：億円)



- 車載向け売上高は、注力分野のパワートレイン・走行安全系向けの販売回復強く、前期比17%増加

④ 営業利益増減分析

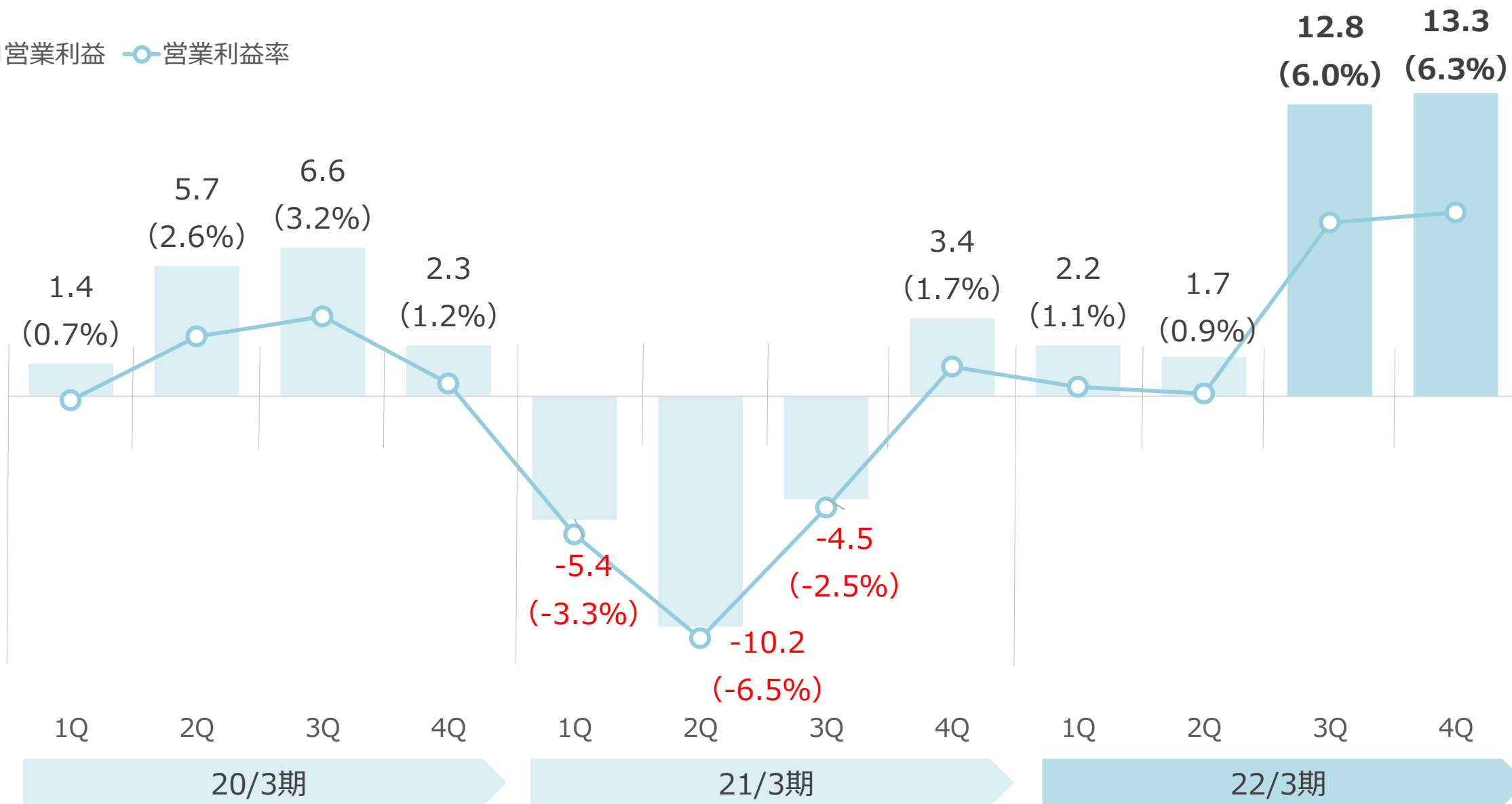
(単位：億円)



- 原材料価格上昇等の影響はあったものの、車載向け売上高の増加に加え、歩留まり改善や生産性向上等により、営業利益は増益

⑤ 四半期 営業利益推移

■ 営業利益 ○ 営業利益率



2. 2023年3月期 連結業績見通し

① 連結損益及び配当金

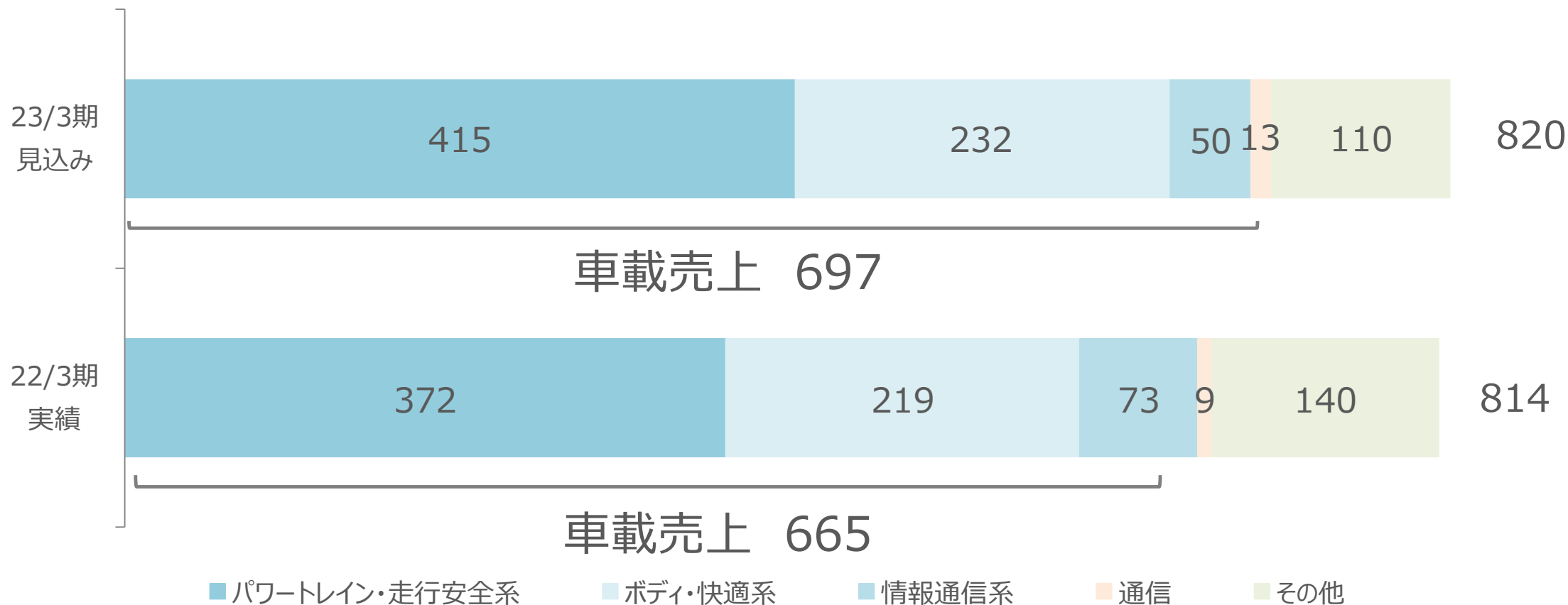
(百万円)	22/3期 実績	23/3期 見通し	増減額	増減率
売上高	81,486	82,000	+513	+1%
営業利益	3,021	3,000	-21	-1%
率	3.7%	3.7%	-	-
経常利益	3,305	2,900	-405	-12%
当期純利益	2,785	2,100	-685	-25%
配当金／1株	14.00	11.00		
配当性向	29.8%	31.0%		

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

※見通しの前提為替レート (USD/JPY) 120.00

②用途別売上高

(単位：億円)

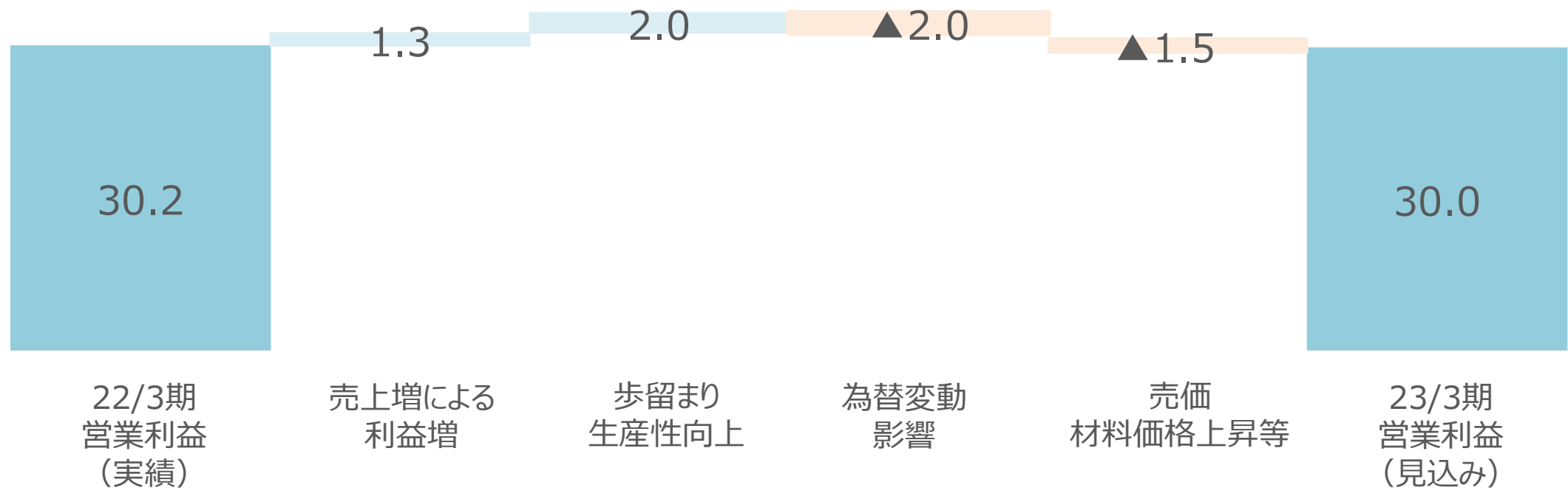


- 車載向け売上高は、注力分野のパワートレイン・走行安全系向けの販売が前期比12%増加

③ 営業利益増減分析



(単位：億円)



3. 補足資料

①用途別売上高



	(億円)	21/3期 実績	22/3期 実績	増減額	増減率	23/3期 見通し
車載		567	665	+97	+17%	697
車載内訳	パワートレイン・走行安全系	295	372	+77	+26%	415
	ボディ・快適系	191	219	+28	+15%	232
	情報通信系	81	73	-7	-10%	50
通信		10	9	-0	-9%	13
その他		121	140	+18	+15%	110
合計		699	814	+115	+17%	820

※「その他」：AV・デジタル家電、デジタルカメラ、アミューズメント、その他

②基板種類別売上高



(億円)	21/3期 実績	22/3期 実績	増減額	増減率	23/3期 見通し
ビルドアップ配線板	184	210	+26	+14%	225
多層プリント配線板	363	440	+77	+21%	445
両面プリント配線板	97	106	+8	+9%	112
その他	53	56	+3	+7%	37
合計	699	814	+115	+17%	820

③地域別業績



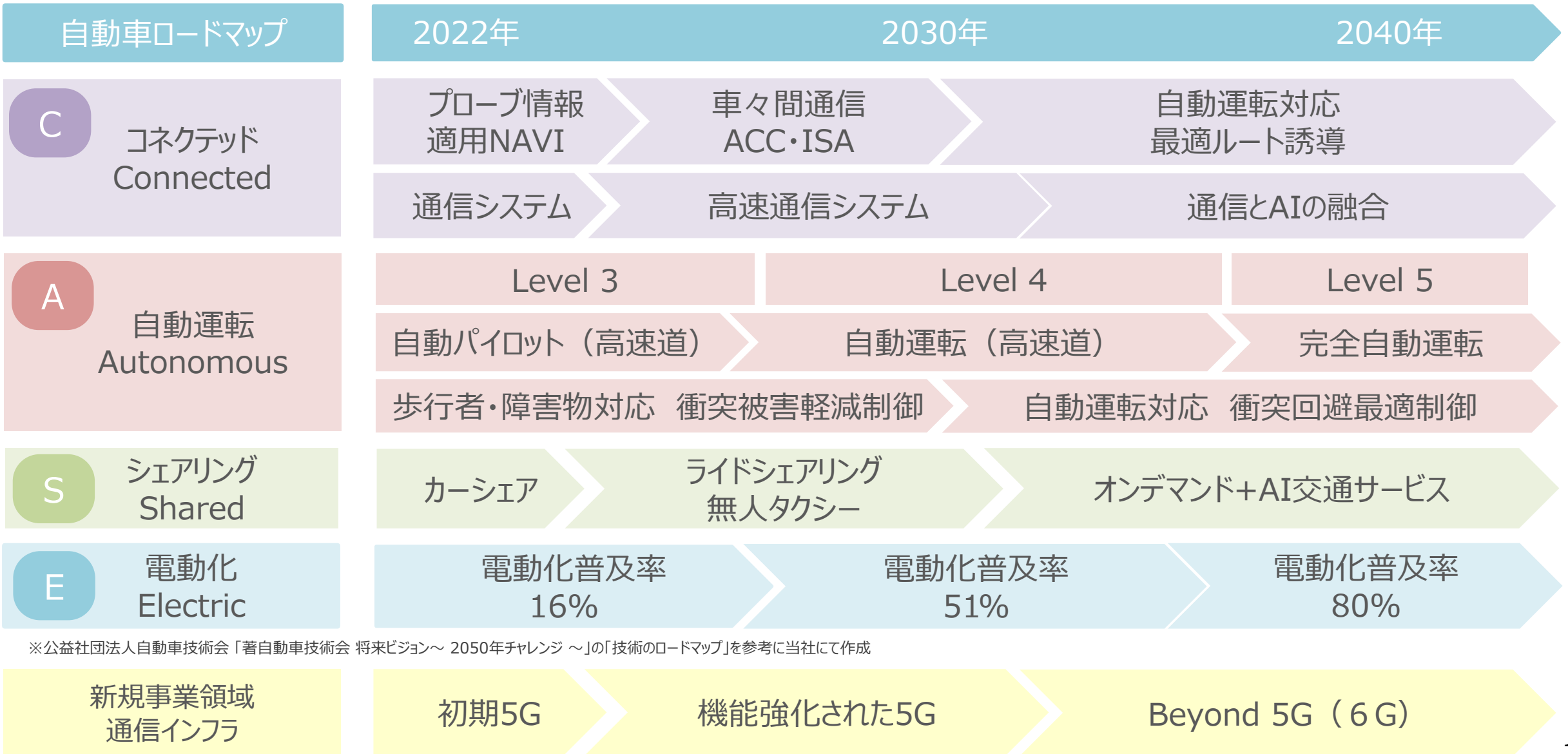
(億円)		21/3期 実績	22/3期 実績	増減額	増減率	23/3期 見通し
日本	売上高	443	494	+51	+12%	495
	営業利益	-10.6	22.6	+33.3	-	14.0
中国	売上高	233	299	+66	+29%	355
	営業利益	5.3	7.0	+1.7	+33%	16.0
東南アジア	売上高	193	252	+59	+31%	270
	営業利益	-7.8	10.7	+18.5	-	10.0
欧米	売上高	39	37	-2	-6%	36
	営業利益	1.8	1.4	-0.4	-24%	1.0
消去又は全社	売上高	▲209	▲269	-59	-	▲336
	営業利益	▲5.4	▲11.6	-6.2	-	▲11.0
連結	売上高	699	814	+115	+17%	820
	営業利益	-16.7	30.2	+46.9	-	30.0

④設備投資



(億円)	21/3期 実績	22/3期 実績	増減額	23/3期 見通し
国内	15	40	+25	48
海外	22	22	-0	35
連結	37	62	+24	83
減価償却費	44	42	-2	45

⑤-1.CASE自動車及び新規事業領域のロードマップと対応状況








※公益社団法人自動車技術会「著自動車技術会 将来ビジョン～ 2050年チャレンジ～」の「技術のロードマップ」を参考に当社にて作成

※総務省「Beyond 5G推進戦略 -6Gへのロードマップ-」を参考に当社にて作成

⑤-2.CASE自動車及び新規事業領域のロードマップと対応状況



市場の要求	アイテム	基板への要求	当社の技術革新
<p>C  コネクテッド Connected</p>	<p>通信モジュール 5G,V2X エン터테인먼트 IVI</p>	<p>低損失 SoCプロセッサ搭載</p>	<p>低誘電材、特性インピーダンス制御 多段HDI、微細回路 MSAP</p>
<p>A  自動運転 Autonomous</p>	<p>ミリ波レーダー センシングカメラ</p>	<p>アンテナ回路精度安定 小型化、3次元</p>	<p>高精細回路形成 MSAP 多段HDI、高板厚リジッドフレックス</p>
<p>S  シェアリング Shared</p>	<p>車載AI搭載 インフラ向けユニット</p>	<p>AIプロセッサ搭載 高多層、小径VIA</p>	<p>低誘電材、特性インピーダンス制御 多段HDI、高アスペクト</p>
<p>E  電動化 Electric</p>	<p>統合ECU パワーモジュール</p>	<p>制御回路と電源の混在 大電流、高電圧、耐熱</p>	<p>厚銅回路、内層銅コア、高放熱材 高絶縁レジスト、放熱シミュレーション</p>
<p> 新規事業領域 通信インフラ</p>	<p>5G高速通信 基地局スモールセル</p>	<p>高多層、低損失 高密度、微細配線</p>	<p>低誘電材、高多層、高アスペクト サブトラ微細配線、バックドリル</p>

⑥技術ロードマップ



当社の革新技术

第1次中期経営計画

第2次中期経営計画

22/3期

23/3期

24/3期

25/3期

26/3期

27/3期

C



高密度

多段HDI BVHスタック

多段HDI AnyLayer

微細回路 MSAP

量産中

試作

量産

開発

試作

量産

A



高機能

高精細回路 MSAP

高板厚リジッドフレックス

試作

量産

開発

試作

量産

S



高周波

低損失

特性インピーダンス制御

開発

試作

量産

±10%(実測管理)

±10%(工程保証)

シミュレーション保証

E



高放熱

厚銅 + 信号回路

高熱伝導

開発

試作

量産

開発

試作

量産



高多層

高アスペクト (Aspect Ratio)

サブトラ微細配線

AR12

AR21

AR24

開発

試作

量産

20

⑦ 持続可能な社会に向けた取り組み

「発展と永続」の社是のもと、サステナビリティ基本方針を制定。

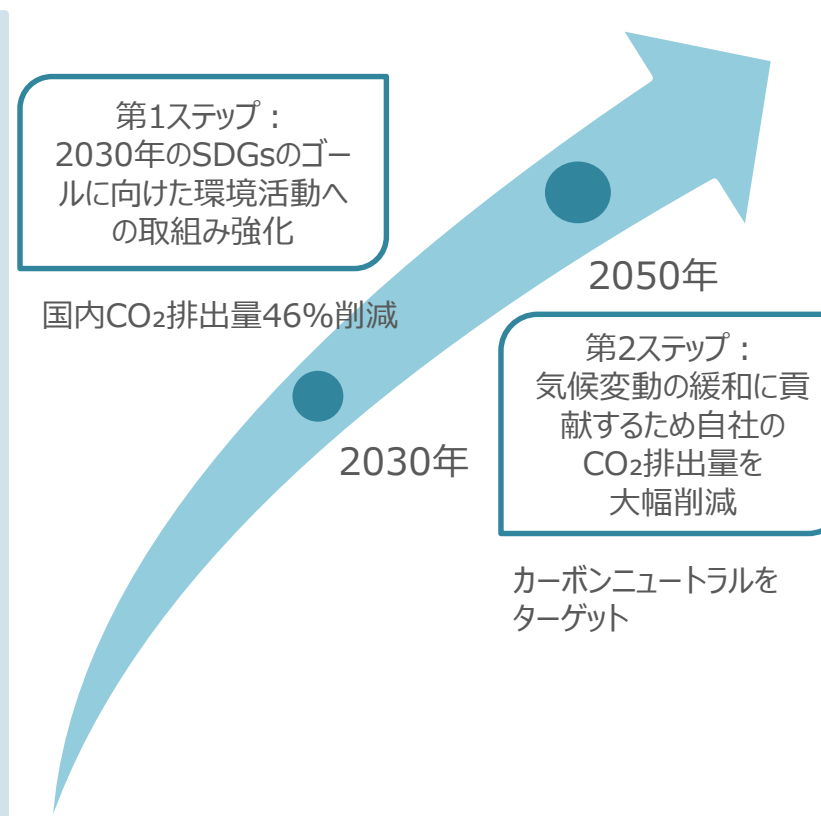
気候変動への対応、人権、製品を通じた社会への貢献、経営基盤の強化を推進し、持続可能な社会の実現と、企業価値向上を目指す。

脱炭素に向けた取り組み

Smart e-changes 30

	項目	取り組み内容
CO ₂ 排出削減	省エネ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の省エネ活動（原単位削減の継続推進） ・R22冷媒機器入替 ⇒3ヵ年計画
	エネルギー転換（新規案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電導入 ・水素燃料機器導入 ・EV車導入 ・再生可能エネルギー導入（再エネ購入） ⇒2023年義務化
仕組み構築	TCFD（プライム市場への対応）	<ul style="list-style-type: none"> ・体制・仕組み（CGコード開示） ・GHGスコープ対応 ⇒2022/6 TCFD枠組み開示、2022/7以降ブラッシュアップ
	見える化	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員周知 ・原単位の細分化（計測器導入→原単位見直し→LCA）
	国際標準化	<ul style="list-style-type: none"> ・国際イニシアチブ参画検討

CO₂ 2030年
（2013年度比）46%削減



本資料における将来情報は、2022年5月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

(金額は切捨て、%は小数第二位を四捨五入にて表示)

END